

第19回軽金属学会功労賞

軽金属学会功労賞は、永年にわたり軽金属学の発展ならびに当会の活動に顕著な貢献をした者に贈られる。



櫻井 健夫 君
(株式会社神戸製鋼所
アルミ・銅事業部門
技術企画室 次長)

櫻井 健夫 君は、1990年に入社以来、自動車パネル用アルミニウム合金板材の研究開発に従事し、焼付塗装時の低温・短時間熱処理における6000系合金の高強度化、曲げ加工性向上のための析出粒子分布の最適化、板プレス成形におけるアルミニウム合金に適した金型形状提案、板材の成形シミュレーションなどベークハード性に優れた6000系合金板材および板プレス成形技術の研究開発を行い、自動車のアルミ化促進に努めてきている。また、地球環境に配慮した自動車の車体軽量化という大きな課題を実現することを目的に、軽金属材料、特にアルミ化を推進するとともに、新しい材料および成形技術の発展に努めており、軽金属分野に対し工業的のみならず学術的にも大きく貢献している。

学会では、企画委員会委員、編集委員会編集幹事、研究委員会委員、国際交流委員会委員、秋期大会実行委員会委員、関東支部運営委員会委員を務め、平成23年度から27年度まで成形性評価シミュレーション技術開発研究部会長として部会運営も行っており、学会に多大な貢献を果たしている。特に、自動車関連講演会・シンポジウム・基礎技術講座で何度も講師を務め、自動車のアルミ化技術の発展ならびに軽金属分野の人材育成に大きく貢献している。

以上のように、同君の軽金属に関する功労は極めて顕著であり、ここに軽金属学会功労賞を授与する。